等を描いて高等部へ

~進路指導の実践~

十日町市立ふれあいの丘支援学校 中澤眞紀、渡邉美恵子

現状



川西高等特支に行けばひとり立ち できるようにしてくれるだろう。 手帳って、何に必要なの? みんなが行くから 自分も川西高等特支へ・・

研修 テーマ

生徒が自分の将来に夢を描き、保護者と共に生徒の夢実現に向けて支援をする進路指導の実践。





具体的目標



- 1自分の子供の特性とその将来を見通す。
- ②必要な支援や福祉サービスを理解する。
- ③本人の進学目的と取り組むべき課題を明確にする。
- ④それを担任・保護者が共有する。

取り組み



①保護者への進路 希望アンケート

₃進路に関する授業

資料3

①②進路・福祉サービス に関するアンケート

資料 2

2保護者面談

(アンケートのフィードバック)

4家庭で進路について話し合う宿題

(場の設定)

資料6

34キャリア カウンセリング

3川西高等特支

学校説明会参加

資料5

資料4

成果と課題

- 〇子どもの成長や考えが見えた。
- 〇子どもと真剣に向き合う機会になった。
- ○必要な福祉サービスや、可能性のある進路に関心 を持ち始めた。
- 〇福祉手帳未取得の4名とも取得した。
- ▲十日町地域の働く場所に関する知識が不足。 (⇒施設見学など、保護者支援)
- 〇中学部を卒業したら「どこに行くか」だけ でなく「何をするか」が見えた。
- ○夢実現のために、今何を頑張るべきかが分 かった。
- O20 歳の自分の将来をイメージできた。
- 〇保護者と先生が自分の夢を応援してくれる ことが分かった。
- ▲「グループホーム」や「就労移支援施設」・・・ 分からない、イメージできない。 (⇒分かりやすい学習教材の工夫)

